

事業コード	03020408	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略				
事業名	畜舎等整備緊急対策事業	施策コード	02	施策名	複合型生産構造への転換の加速化				
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	指標コード	04	施策目標(指標)名	大規模畜産団地の全県展開		
		班名	生産振興班	(tel)	1807	担当課長名	畠山英男	担当者名	田中宜久、小松恵

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 令和02年度 ~ 令和02年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 新型コロナウイルス感染症の拡大により、牛肉や子牛価格の下落など影響を受けている畜産の生産基盤の維持・強化を図るため、畜舎等の整備に対し支援する必要がある。

2. 住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: R02 年 09 月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
 ニーズの具体的内容
 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、収益性が低下している中、接触機会の低減や規模拡大、生産性向上を図るための施設・機械の整備、繁殖雌牛等の導入に対し支援が必要とされている。

3. 事業目的(どのような状態にしたいのか)
 施設整備や省力化機械の導入、優良な家畜の円滑な導入を支援することにより、コロナ禍で収益性が低下している畜産経営体の経営安定を図り、肉用牛及び酪農の生産基盤を強化する。

(重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

4. 目的達成のための方法
 事業の実施主体 畜産クラスター協議会、農業協同組合、市町村
 事業の対象者・団体 肉用牛経営体
 達成のための手段
 ・収益性が低下している肉用牛経営体を支援するため、畜舎等の整備に必要な経費を助成する。
 ・接触機会の低減や生産性向上等を図る肉用牛・酪農経営体に対し、機械等の整備に必要な経費を助成する。
 ・子牛価格の下落等により、収益性が低下している肉用牛・酪農経営体に対し、再生産に必要な繁殖雌牛等の導入費用の一部を助成する。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性

迅速かつ効果的に畜産経営体を支援する必要があることから、事業実施までに時間を要する一般的な国の事業ではなく、本事業による支援が有効である。

把握していない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)								
順位	事業内訳	左の説明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画	
01	畜舎等施設整備事業	収益性が低下している肉用牛経営体を支援するため、畜舎等の整備に必要な経費を助成する。	120,000	0	0	0	0	0	120,000	
02	機械等整備事業	省力化または生産性向上等を図る肉用牛・酪農経営体に対し、機械等の整備に必要な経費を助成する。	52,000	0	0	0	0	0	52,000	
03	大家畜導入支援緊急対策事業	子牛価格の下落により、収益性が低下している肉用牛・酪農経営体に対し、再生産に必要な繁殖雌牛等の導入費用の一部を助成する。	82,765	0	0	0	0	0	82,765	
財源内訳			左の説明							
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		254,765	0	0	0	0	0	254,765	
県債			254,765	0	0	0	0	0	254,765	
その他			0	0	0	0	0	0	0	
一般財源			0	0	0	0	0	0	0	

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		飼養頭数の維持・拡大							
指標	指標名	飼養頭数					指標の種類		
	指標式	肉用牛飼養頭数					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			19,600					19,600
	実績b	19,100	データ等の出典						
	東北	326,900	農林水産省「畜産統計調査」						
全国	2,503,000								
把握する時期								当該年度中 月 翌年度 11月 翌々年度 月	

指標	指標名						指標の種類		
	指標式						成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b		データ等の出典						
	東北								
全国									
把握する時期								当該年度中 00月 翌年度 月 翌々年度 月	

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、収益性が低下している中、接触機会の低減や生産性向上を図るための施設・機械の整備、繁殖雌牛等の導入に対する支援が必要である。

住民ニーズに照らした事業の必要性

子牛価格の下落等により、収益性が低下している肉用牛・酪農経営体において、接触機会の低減や生産性向上を図るため、畜舎・機械等の整備や、再生産のための繁殖雌牛等の導入が必要である。

事業の県関与の必要性

法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

複合型生産構造への転換を図るため、大規模畜産団地の全県展開による収益性の向上と生産基盤の強化を推進してきており、コロナ禍での生産性向上等についても、全県域において同水準で支援する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
重点事業	その他